

農地・森林等の放射性物質の除去・低減技術の開発

1. 事業概要

福島第一原子力発電所事故の影響を受けた被災地での営農の早期再開のためには、被曝が懸念される高濃度汚染地域での農地土壌除染作業方法、及び除染作業により生じる汚染土壌の処分方法を開発する必要があります。

このため、本プロジェクト研究では、高濃度汚染地域における農地土壌除染技術体系の構築・実証、及び高濃度汚染土壌の現場における処分技術の開発を行います。

2. 公募研究課題別の研究開発内容、目標等

(1) 「公募研究課題 1」高濃度汚染地域における農地土壌除染技術体系の構築・実証

① 研究開発の具体的内容

高濃度の放射性セシウムに汚染された農地において、除染前に汚染状況を簡易に調査する手法を開発します。また、汚染状況（蓄積している放射性セシウムの濃度の違い）に応じて、除染作業機械等で効率的に（放射性セシウム濃度が高い所は表土を厚く削り、低い所は薄く削る等）、かつ、作業者の被曝を低く抑えながら除染を行う技術を開発し、実証します。

② 達成目標（最終目標）

除染前の農地の汚染状況を簡易に調査する手法を開発します。また、汚染状況に応じて、除染作業機械等で効率的に、かつ作業者の被曝を低く抑えながら除染を行う技術を開発し、実証します。

③ 研究実施期間（予定）

平成 24 年度～26 年度（3 年間）

<留意事項>

平成 24 年度内に上記②の基本的な目標をほぼ達成していただく必要があります。平成 25 年度以降については、現場のニーズに応じて研究計画を変更していただく可能性があります。

④ 平成 24 年度の委託研究経費限度額

10,000 千円

(2) 「公募研究課題 2」高濃度農地汚染土壌の現場における処分技術の開発（生物学的処分技術）

① 研究開発の具体的内容

放射性セシウムに係る高吸収植物の探索を行うとともに、植物が放射性セシウムを吸収するメカニズムを明らかにし、汚染土壌から放射性セシウムを生物学的に分離する技術を開発します。

② 達成目標（最終目標）

植物が放射性セシウムを吸収するメカニズムを明らかにし、汚染土壌から放射性セシウムを生物学的に分離する技術を開発します。

③ 研究実施期間（予定）
平成24年度～26年度（3年間）

④ 平成24年度の委託研究経費限度額
10,000千円

3. 委託件数

2. の「公募研究課題1」及び「公募研究課題2」ごとに、原則としてそれぞれ1件とします。

4. 問合せ先

上記の内容に関する問合せは、応募の締切りまでの間、下記において受け付けます。

なお、審査経過、他の提案者に関する事項、応募に当たり特定の者にのみ有利となる事項等にはお答えできません。また、これら以外の問合せについては、質問者が特定される情報等を伏せた上で、質問及び回答の内容を農林水産技術会議事務局のホームページにて公開させていただきますので、ご承知おきください。

記

○ 公募研究課題について

農林水産技術会議事務局研究開発官（食料戦略）室

担当者：川頭、高橋

TEL：03-6744-2214

FAX：03-3502-4028

○ 契約事務について

農林水産技術会議事務局総務課契約班

担当者：藤原

TEL：03-3502-7967

FAX：03-5511-8622

委託プロジェクト研究の公募説明会 参加申込書

農林水産省 農林水産技術会議事務局
研究開発官（食料戦略）室 宛て
(fax : 03 - 3502 - 4028)

平成 年 月 日

該当委託プロジェクト研究名
農地・森林等の放射性物質の除去・低減技術の開発

研究機関等の名称：

参加希望人数： 人

所属・役職：

氏名：

所在地：

連絡先：tel

fax

e-mail：

その他：

注)「所属・役職」欄以降の記載に当たっては、当該説明会参加を希望する者のうち、連絡窓口となる1名について記載して下さい。